

令和6年度

保健体育

(解答はすべて解答用紙に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。

なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。

同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号						氏 名	
----------	--	--	--	--	--	--------	--

〔問1〕 保健分野について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)第2章 第7節 保健体育 第2 各学年の目標及び内容〔保健分野〕2 内容 に即して、次の文の(a)～(c)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

2 内容

(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 健康な生活と疾病の予防について(a)を深めること。

(ア)～(エ)略

(オ) 感染症は、病原体が主要因となって発生すること。また、感染症の多くは、(b)をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の(c)を高めることによって予防できること。

略

- (2) 次の文は、「学校において予防すべき感染症の解説」(平成30(2018)年3月発行 公益財団法人 日本学校保健会)の一部である。(d)～(f)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

主な感染経路には、①(d)感染((e)核感染)、②(e)感染、③(f)感染、④経口感染(糞口感染)、⑤節足動物媒介感染等がある。

〔問2〕 体づくり運動について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)第2章 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2 内容 A 体づくり運動〔第1学年及び第2学年〕(1)知識及び運動 に即して、次の文の(a)～(d)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動を通して、体を(a)楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動を身に付け、組み合わせること。

ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わ合うこと。

略

○ 知識

略

○ 運動

ア 体ほぐしの運動

手軽な運動とは、(b)が簡単に取り組むことができる運動、仲間と(c)して楽しくできる運動、心や体が弾むような軽快な運動を示している。

心と体の関係や心身の状態に気付きとは、運動を通して、体がほぐれると心がほぐれたり、心がほぐれると体がほぐれたりするように、自己の心と体は互いに関係していること、さらに、他者の心と体とも関わり合っていることに気付くことである。また、自らの心が軽くて(d)された状態なのか重く沈んだ状態なのかを自覚したり、体の動かし方には個人差があることなどに気付いたりすることである。

略

- (2) 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)第2章 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2 内容 A 体づくり運動〔第3学年〕(3)学びに向かう力、人間性等 に即して、指導に際して説明している次の文の(e)、(f)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

指導に際しては、生徒自身が公正、協力、責任、参画、(e)の意義や価値を認識し取り組もうとする意欲を高めることが求められることから、意義や価値の理解とその(f)な取り組み方を結び付けて指導することが大切である。また、学びに向かう力、人間性等に関する意義や価値については、各領域で繰り返し伝えることも大切である。

〔問3〕 陸上競技について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 「陸上競技ルールブック2023年度版」(2023年4月1日 公益財団法人 日本陸上競技連盟)に即して、リレー競走の競技規則について次の文の(a)～(c)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

バトンはテイク・オーバー・ゾーン内で受け渡されなければならない。バトンの受け渡しは、受け取る競技者にバトンが(a)時点に始まり、受け取る競技者の手の中に完全に渡り、(b)のバトン保持者となった瞬間に成立する。それはあくまでもテイク・オーバー・ゾーン内でのバトンの(c)のみが決定的なものであり、競技者の身体の(c)ではない。テイク・オーバー・ゾーン外でのバトンの受け渡しは、失格となる。

- (2) 「中学校部活動における 陸上競技指導の手引き」(2018年12月25日発行 公益財団法人 日本陸上競技連盟)を踏まえて、以下の問いに答えなさい。
- ① 4×100mリレーでは、4人の100m走のベストタイムの合計よりもリレーのタイムのほうが速くなる場合があります。その理由を、【バトンパス】という言葉を用いて40字以内で書きなさい。
 - ② 「オーバーハンドパス」には、走者間の距離を長くとれる利点があります。その理由を40字以内で書きなさい。

〔問4〕 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)参考：運動領域、体育分野の系統表 運動領域、体育分野の「学びに向かう力、人間性等」系統表 器械運動領域に即して、次の枠内の (a) ～ (f) に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

中学校 第1学年及び第2学年	中学校 第3学年	領域
略	略	体づくり運動
<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動に (a) に取り組む ・よい演技を認めようとする ・仲間の学習を (b) とする ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする ・健康・安全に (c) 	<ul style="list-style-type: none"> ・器械運動に自主的に取り組む ・よい演技を (d) とする ・互いに助け合い (e) とする ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を (f) とする ・健康・安全を確保する 	器械運動
略	略	略

〔問5〕 球技について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 授業を構想するにあたり、指導する内容を明確にした。次の文の (a) ～ (d) に当てはまる語句を、「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)第2章 第7節 保健体育 第2 各学年の目標及び内容〔体育分野 第1学年及び第2学年〕 2 内容 E 球技 に即して、それぞれ書きなさい。

E 球技
球技について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。
 - ア ゴール型では、ボール (a) と空間に (b) などの動きによってゴール前での攻防をすること。
 - イ ネット型では、ボールや用具の (a) と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。
 - ウ (c) 型では、基本的なバット (a) と走塁での攻撃、ボール (a) と定位置での守備などによって攻防をすること。
- (2) 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の (d) を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 略

- (2) 授業を構想するにあたり、内容の取扱いにも配慮した。次の文の (e), (f) に当てはまる語句を、「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)第2章 第7節 保健体育 第2 各学年の目標及び内容〔内容の取扱い〕 に即して、それぞれ書きなさい。

(1) 略

(2) 内容の「A体づくり運動」から「H体育理論」までに示す事項については、次のとおり取り扱うものとする。
ア～エ 略

オ 「E球技」の(1)の運動については、第1学年及び第2学年においては、アからウまでを全ての生徒に履修させること。第3学年においては、アからウまでの中から二を選択して履修できるようにすること。また、アについては、バスケットボール、(e), サッカーの中から、イについては、バレーボール、卓球、(f), バドミントンの中から、ウについては、ソフトボールを適宜取り上げることとし、学校や地域の実態に応じて、その他の運動についても履修させることができること。なお、ウの実施に当たり、十分な広さの運動場の確保が難しい場合は指導方法を工夫して行うこと。

略

(3) 中学校1年生のバドミントンの授業について、以下の問いに答えなさい。

① バドミントンの基本的なストロークを確認した。次のあ～うの内容に合う打ち方の名称を下の**選択肢**から選び、書きなさい。

- あ ネット際に落とされたシャトルに対し、アンダーハンドストロークでコート奥深くへ返球する打ち方。
- い コートの後方から相手のネット際へ落下させるように、力をぬき、押し出すように打つ打ち方。
- う オーバーヘッドストロークで相手の頭上を越えてコートの後方まで深く飛ばす打ち方。

選択肢

クリアー	スマッシュ	ボレー	ヘアピン	ブッシュ
アタック	ドロップ	ロブ	ドライブ	フライト

② 相手コートに向けサービスを打ち入れることが苦手な生徒に配慮をした。考えられる配慮を30字以内で書きなさい。

〔問6〕 体育理論について、次の問いに答えなさい。

国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割について、IPC（国際パラリンピック委員会）が示すパラリンピックの4つの価値を書きなさい。

〔問7〕 武道について、次の各問いに答えなさい。

(1) 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)第2章 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2 内容 F 武道〔第3学年〕(3)学びに向かう力、人間性等 に即して、次の文の(a), (b)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

武道について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。

武道に自主的に取り組むとは、自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択する学習などに自主的に取り組むことなどを示している。そのため、上達していくためには繰り返し(a)取り組むことが大切であることなどを理解し、取り組めるようにする。

相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとするとは、単に伝統的な行動の仕方を所作として守るだけでなく、「礼に始まり礼に終わる」などの伝統的な行動の仕方を自らの意思で大切にしようとするを示している。そのため、伝統的な行動の仕方を大切にすることは、自分で自分を律する克己の心に触れるとともに、(b)につながることを理解し、取り組めるようにする。

略

(2) 「学校体育実技指導資料第2集 柔道指導の手引(三訂版)」(平成25年3月 文部科学省)において示されている、「技の系統性を生かした指導のあり方」の一部である。以下の写真の(c), (d)に当てはまる技の名称を書きなさい。

【支え技系の技のまとめり例】

【まわし技系の技のまとめり例】

(c) (膝) 支え釣り込み足(足首)
取の支える左足の位置の違いでまとめる

(d) (帯) 釣り込み腰(襟) 背負い投げ(腋下)
取のつり手の使い方と位置の違いでまとめる

- (3) 「新中学校学習指導要領に準拠した安全で効果的な剣道授業の展開 ダイジェスト版第4版」(令和2年9月 公益財団法人 全日本剣道連盟)に示されているけが等の予防の一部である。体当たり後の転倒による脳震盪について、次の枠内の文の(e), (f)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

体当たりは、手元を腰の位置に下げた状態で行いますが、手元が胸や首の位置に上がった状態で体当たりすると、受けた側は後方に(e)から転倒する可能性があります。(e)部を打撲した場合は必ず(f)を止め経過を観察し、場合によっては、医師の診察を受けましょう。

- 【問8】 「中学校学習指導要領」(平成29年3月 文部科学省)第2章 第7節 保健体育 第3 指導計画の作成と内容の取扱い に即して、内容の取扱いに配慮する事項として示されている次の枠内の文の(a)～(g)に当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

- (1) 体力や技能の程度, (a) や (b) の有無等に関わらず, 運動の多様な楽しみ方を共有することができるよう留意すること。
- (2) 言語能力を育成する言語活動を重視し, (c) を立てて練習や(d) について話し合う活動や, 個人生活における健康の保持増進や回復について話し合う活動などを通して, コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促し, 自主的な学習活動の充実を図ること。
- (3) 略
- (4) 体育分野におけるスポーツとの多様な関わり方や保健分野の指導については, 具体的な(e) を伴う学習の工夫を行うよう留意すること。
- (5) 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう, 学校や生徒の実態に応じ, 学習内容の習熟の程度に応じた指導, 個別指導との連携を踏まえた教師間の(f) 的な指導などを工夫改善し, 個に応じた指導の充実が図られるよう留意すること。
- (6) 第1章総則の第1の2の(3)に示す学校における体育・健康に関する指導の趣旨を生かし, 特別活動, (g) の活動などとの関連を図り, 日常生活における体育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践できるよう留意すること。なお, 体力の測定については, 計画的に実施し, 運動の指導及び体力の向上に活用するようにすること。
- (7) 略